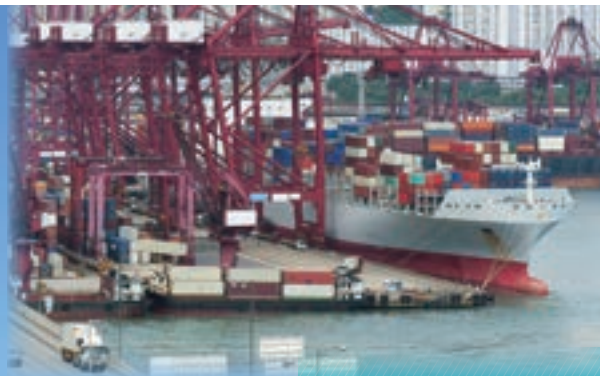


# IR Report

第35期 第2四半期株主通信 (2014年1月1日~2014年6月30日)



## ■ 一時的な費用計上により、増収ながら純損失に

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、謹んで御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における当社の業績は、主力商品である単体混載輸送売上がわずかながら増加に転じたのに加え、輸入・航空輸送分野が引き続き大きな伸びを示しました。また、昨年6月に事業を開始したフライングフィッシュ株式会社の国際複合一貫輸送事業が寄与したこともあり、売上高は計画を上回り順調に推移しました。

しかしながら、インド現地法人関連の販管費の増加及びのれん償却額などの特別損失の計上が利益を圧迫しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は9,639百万円（前年同四半期比28.5%増）の増収となりましたが、営業利益は323百万円（同31.3%減）、経常利益は320百万円（同37.3%減）、四半期純損失は407百万円（前年同四半期純利益307百万円）と、前年同期を大幅に下回る結果となりました。

今後の見通しにつきましては、消費税率上げ後の反動によるわが国景気の落ち込みが予想されておりますが、当社事業への影響が大きい輸出に関しては、海外景気の回復を背景に、今後も緩やかな持ち直しが続くと思われま

す。このため、当連結会計年度の通期連結業績予想に関しましては、売上高が19,000百万円（前連結会計年度比13.1%増）と引き続き順調に推移する見込みで、当期純損益についても100百万円（同86.3%減）の利益を確保できる見通しです。

加えてこの4月には、2014年度から2016年度までの新3か年中期経営計画を新たに策定し、国際総合フレイトフォワードとして確固たる地位を築くべく新たなスタートを切っております。

今後も当社は、さらなる成長と業績の回復を目指し尽力してまいりますので、皆様には一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

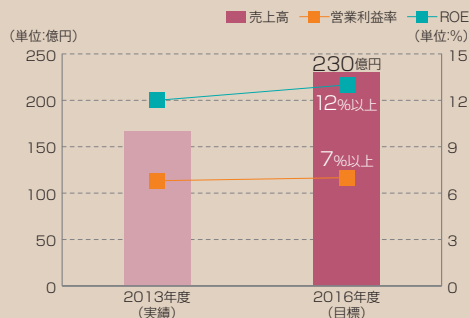
常多 晃



## 「国際総合フレイトフォワード」 への変革を推進

当社はこのほど、新たな中期経営計画（2014年度～2016年度）を策定しました。目指す企業像である「国際総合フレイトフォワード」への変革に取り組み、2016年度には売上高230億円をめざします。

### 連結業績目標



### グループ基本方針

- ① 輸出入混載輸送を主軸としながら、フォワーディングサービスの促進、既存事業と航空輸送、一貫輸送等の新規事業との連携により、国際総合フレイトフォワードとしての確固たる業績と地位を確立します。
- ② 当社グループの総合力を活かしながら、海外事業の発展に重点を置き、連結利益における海外比率50%をめざします。
- ③ 親会社による機能的な管理、支援体制により、グループ各社の特性と事業環境に適った支援を実施し、グループ全社の経営基盤を強化、確立します。
- ④ 当社グループの持続的発展のため、若手人材の中から、経営能力に富み、グローバル展開に資する優れた人材群を育成しその登用を図ります。

### 中期経営計画の戦略骨子

#### 全体戦略

- ① グループ総合力の発揮
  - ・ グループ13社が持つ機能・人材を組み合わせ、安全、確実、スピーディな国際物流サービスを提供
  - ・ 新規に統合したグループ会社とのシナジー効果を最大化
- ② 海外代理店ネットワークとの連携強化
  - ・ 新たな海外代理店の開拓を推進、既存代理店との連携を強化し収益向上
- ③ IT体制の確立と情報リテラシー教育
  - ・ 主力商品の最適化と収益効率向上のため、ITシステムの進化、完成へ
  - ・ 社員への情報リテラシー教育を実施してITの活用能力を高め、他社サービスと差別化

#### 国内戦略

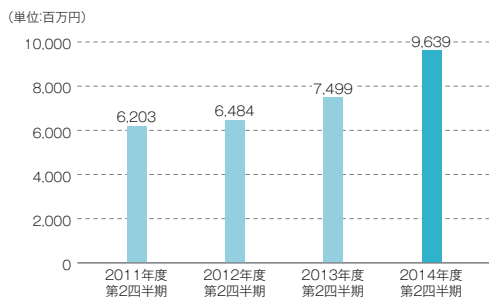
- ① 輸出入混載事業における優位性の維持
  - ・ 輸出の品質を徹底強化して優位性を維持、輸入のさらなる拡大、混載を軸とした一貫輸送、三国間ビジネスへとつなげる
- ② 新たなコア事業の育成
  - ・ 国際複合一貫輸送及び航空輸送を新たなコア事業へ育成

#### 海外戦略

- ① 新興国への進出と新規事業投資
  - ・ ASEAN諸国をはじめとする新興国に積極的に投資
  - ・ 3PLや倉庫事業等のアセット型ビジネスへの参入も視野に
- ② 海外現地法人経営陣の一層の現地化推進
  - ・ ナショナルスタッフの育成と経営層への登用を図り一層の現地化を推進

■当四半期の業績

売上高

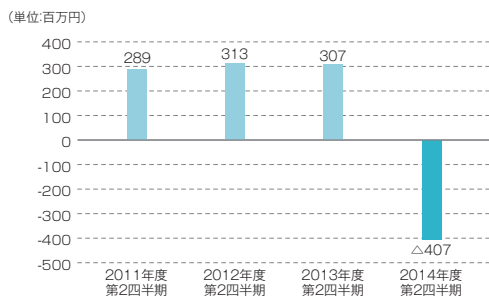


**9,639**百万円  
(前年同期比28.5%増)



単体で主力の混載貨物輸出が増加し、輸出入フルコンテナ貨物及び航空貨物でも大きく売上を伸長。国内子会社3社の売上も好調に推移しました。海外子会社でも、アジア・米国の現地法人9社がおおむね順調に業績を伸ばしました。

四半期純損失

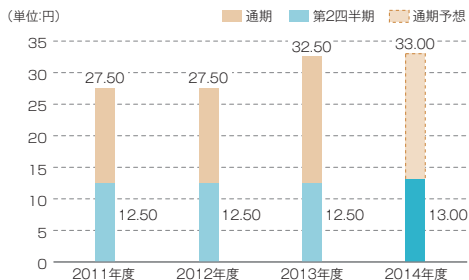


**407**百万円  
(前年同期は純利益307百万円)



インド現地法人が、回収遅延債権に対する貸倒引当金の計上により多額の営業損失を計上し、連結決算においてこれに伴うのれん償却額などを計上した結果、純損失を余儀なくされました。

1株当たり配当金



**13.00**円  
(前年同期比50銭増)



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持する方針のもと、当第2四半期の配当金は前年同期比50銭増の13円としました。通年では計33円とする方針です。

(注) 当社は、2012年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割に伴う影響額を加味し、2012年度以前の数値を遡及修正しています。

キャッシュ・フロー指標 (単位：百万円)	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	309	355	133	328
投資活動による キャッシュ・フロー	△482	△269	△629	△43
財務活動による キャッシュ・フロー	△48	△223	△97	△153
現金及び現金同等物の 四半期末残高	3,362	3,427	3,036	3,814

資産関連指標 (単位：百万円)	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度 第2四半期
総資産	6,326	7,110	8,980	8,330
純資産	5,040	5,610	6,625	6,033
自己資本比率 (%)	79.0	78.2	73.1	71.6

1株当たり指標 (単位：円)	2011年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	2014年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	55.59	59.93	58.40	△76.20

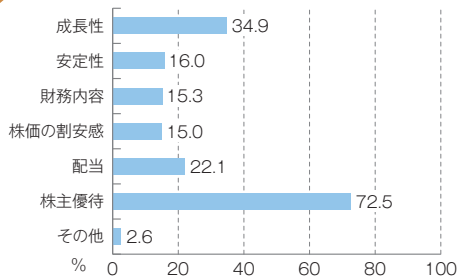
(注) 2012年7月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っており、1株当たり指標の算定については、2011年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

## 9割超の株主様からご回答

第34期株主通信ご送付の際に実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の93.1%に当たる5,399名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果をご報告させていただきます。

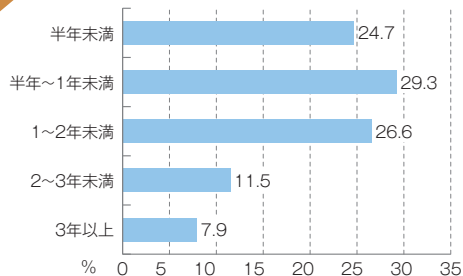
### 質問1

#### 当社株式の購入理由(複数回答)



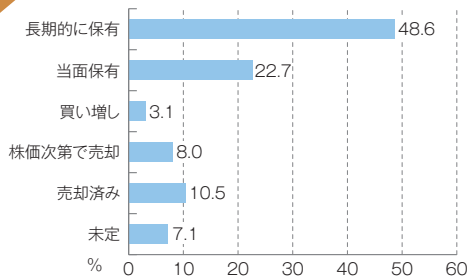
### 質問2

#### 当社株式の保有期間



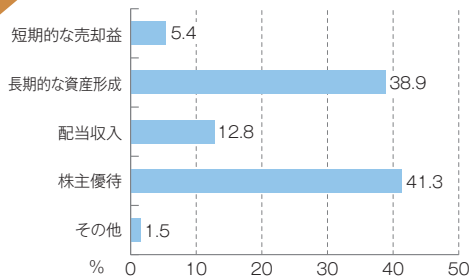
### 質問3

#### 今後の方針



### 質問4

#### 株式投資において最も重視していること



## 株主さまの声 (一部)

- 事業拡大に期待しています (40代女性)
- 長期保有株主に対して株主優待の優遇制度を望む (60代男性)
- 株主懇談会や個人投資家説明会を開催して欲しい (50代男性)

## 会社概要

2014年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)	加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワードーズ協会(JIFFA) 日本貿易振興機構(JETRO)
設立	1980年 5月 1日		
代表取締役社長	常多 晃		大阪商工会議所 東京商工会議所 神戸商工会議所 名古屋商工会議所
従業員数	526名(連結)		横浜商工会議所 福岡商工会議所
資本金	243,937,240円		東京通関業会 横浜通関業会
上場市場	東京証券取引所市場第二部		

## 国内事業所

2014年6月30日現在

本社	大阪市中央区安土町三丁目5番12号 御堂筋安土町ビル 3階	神戸支店	神戸市中央区東町126番地 神戸シルクセンタービル 5階
東京支店	東京都中央区日本橋三丁目8番2号 新日本橋ビル 6階	広島営業所	広島市南区比治山本町16番35号 広島産業文化センター 10階
横浜支店	横浜市中区日本大通60番地 朝日生命横浜ビル 4階	門司営業所	北九州市門司区港町九丁目11番 門司港レトロスクエアセンタービル 3階
名古屋支店	名古屋市中区錦二丁目15番22号 りそな名古屋ビル 5階	福岡営業所	福岡市博多区博多駅前二丁目20番1号 大博多ビル 10階

## 役員一覧

2014年6月30日現在

代表取締役会長	戸田 徹	取締役	戸田 幸子
代表取締役社長	常多 晃	取締役	太田 達雄
専務取締役	大川 友子	監査役(常勤)	佐藤 達朗
取締役	田中 俊光	監査役	木曾 隆司
取締役	三根 英樹	監査役	川崎 裕朗



### 表紙写真

## 香港港

アジア流通の要・香港。古くから知られる良港で、近年は世界有数の貿易港として発展を続けてきました。2013年のコンテナ取扱量は、港湾労働者のストライキの影響などから中国・深圳にわずかに抜かれ、世界4位(香港政府港湾發展局調べ)に後退していますが、港や街は変わらぬ繁栄を続けています。

### 株主メモ

- 事業年度：毎年1月1日から12月31日まで  
公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。  
定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
http://www.ntl-naigai.co.jp/
- 基準日：定時株主総会 12月31日  
期末配当金 12月31日  
中間配当金を行う場合 6月30日  
単元株式数：100株
- 株主名簿管理人：東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
上場取引所：東京証券取引所市場第二部  
証券コード：9384
- お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。  
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。  
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。
- お問合せ先：〒168-8507  
東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00~17:00)
- お取扱店：みずほ証券  
本店、全国各支店および営業所  
プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。
- みずほ信託銀行  
本店および全国各支店  
\*トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
- 未払配当金のお支払：みずほ信託銀行 本店および全国各支店  
みずほ銀行 本店および全国各支店  
(みずほ証券では取次のみとなります)

## 内外トランスライン株式会社

〒541-0052 大阪府中央区安土町三丁目5番12号 御堂筋安土町ビル3階  
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4719

